

環びわ湖大学・地域コンソーシアム—大学・地域連携時代に向けて—

(第2ステージ宣言)

滋賀県において大学と県による環びわ湖大学連携推進会議が発足して今日まで7年、途中で環びわ湖大学コンソーシアムと改称して3年が経過した。この間、滋賀県における大学間の連携はもとより、大学と地域の連携も着実な進展をみている。

地球社会は、自然と人との共生を可能とする循環型社会への移行を最大の共通課題としている。日本社会は、少子高齢社会へ移行し、国内に様々な課題を抱えているが、同時に急激な発展を見せるアジアの中で発展し、よりいっそうの国際貢献を果たすことが求められている。

こうした中、豊かな歴史と文化を継承し、びわ湖とともに歩んできた滋賀の人々は、21世紀に入ってびわ湖の環境を守るため様々な取組みを継続している。滋賀県こそ、環境の世紀と言われる21世紀のフロントランナーの役割を発揮することが可能である。また、滋賀県下の自治体は、少子高齢化社会に積極的に対応し、県民・市民の生活を豊かにするための取組みを推進している。

滋賀県には多くの大学が立地し、それぞれの大学は、グローバル社会、地域社会で活躍する人を育てる使命を担い、存在感を持って特色ある大学づくりを進めている。同時に、大学は、大学間の連携、大学と地域の連携、大学と産業界の連携など様々な連携を進めることが、「知」を生かした社会のために重要であると考えている。

現代は、生涯を通じて学び続けることによって、豊かな人生を送ろうとする人々が増えている生涯学習社会である。大学と地域の連携によって、大学と住民がともに地域の課題に向き合い、互いに学びあいながら問題解決を図ることはますます重要になっている。こうした認識を共有し、これまでの県内全大学に加え、新たに複数の自治体が本コンソーシアムに参画することとなった。

滋賀県に立地する大学と自治体は、産業界、非営利組織、住民などと広範な連携をさらに進める第二ステージでともに活動する。そのため、一般社団法人として、環びわ湖大学・地域コンソーシアムを発足させることを宣言する。

2010（平成22）年3月30日

滋賀大学長	成瀬龍夫	滋賀県知事	嘉田由紀子
滋賀医科大学長	馬場忠雄	大津市長	目片信
滋賀県立大学長	曾我直弘	彦根市長	獅山向洋
龍谷大学長	若原道昭	草津市長	橋川渉
立命館大学長	川口清史	東近江市長	西澤久夫
成安造形大学長	牛尾郁夫		
聖泉大学長	井深信男		
長浜バイオ大学長	下西康嗣		
びわこ成蹊スポーツ大学長	飯田稔		
びわこ学院大学長	村澤忠司		
滋賀文教短期大学長	松本博文		
滋賀短期大学長	板倉安正		
放送大学滋賀学習センター所長	佐藤尚武		